

令和5年度 館林市立第四小学校 第1回学校評価 結果一覧表

R5.9月

7月のアンケートでは、大変お世話になりました。アンケートの結果は、おおむね良い評価をいただいておりますが、目標に達しなかった項目については、全職員で問題を共有し、原因を分析するとともに改善策を立案しました。その他の項目については、現在の取組みを継続し、効果を検証します。今後もさらにより子どもたちを育てるため、職員一同努力していきます。

羅 針 盤			方 策	総合評価	改善策
評価対象	評価項目	具体的数値項目			
I 確かな学力 (自ら学び考える子)	①	学校は児童が「わかった、できた」という授業を行っている。	「授業は楽しく分かりやすい」と答えている児童が80%以上である。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①③では、目標を達成できましたので、今後も現在の方策を継続して実施していきます。</li> <li>・②について 「はばプラ」やICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を継続して実践します。 基本的な課題として、漢字、計算、音読の学習に取り組んでいますが、時間的には短時間で終わらせている児童もいると思われます。課題を終わらせることだけをめあてとせず、学年×10分の時間を達成しているかを、毎日、児童自身に振り返らせるようにします。 「家庭学習がんばりカード」に記入し、自分の学習の仕方を自分で考えることができるようにします。</li> </ul>
	②	学校は、児童に家庭学習の習慣が身に付くよう適切に指導している。	「家庭学習(読書を含む)を学年×10分以上している」と答えている児童が80%以上である。	B	
	③	学校は、ICTを効果的に活用した学習をしている。	ICT(タブレット、映像、プロジェクター等)を使用することによって、学習がわかりやすくなったと答える児童が80%以上である。	A	
II 豊かな心 (思いやりのある子)	④	学校は児童があいさつができるように適切に指導している。	「自分からあいさつができる」と答えている児童・教師・保護者が80%以上である。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長、教務による朝のあいさつ運動や児童会のあいさつ運動を行う。</li> <li>・あいさつの仕方(立ち止まる、帽子をとる、目を見て大きな声で、一礼)を全学年で指導する。</li> <li>・係や委員会の指導を通じて、自分の行動に責任をもたせ、自分で考え、自分から行動できる児童の育成に努める。</li> <li>・日常の観察や「学校生活アンケート」を実施し、いじめの早期発見、早期対応に努める。</li> <li>・いじめ事案は、校内で情報共有し、組織的、継続的に指導し100%の解決に努める。</li> <li>・児童運営委員会が主体となって、いじめ防止を呼びかける。</li> <li>・児童の様子の変化に注意し、声をかけ、児童が悩みや困り事など、教師に話しやすい環境づくりに努める。</li> <li>・小さな変化も見逃さないように観察し、声かけをしていく。</li> </ul>
	⑤	児童の自己指導能力を育成している。	「自分の行動は、自分の頭で考えて自分で決めて動くことができる。」と答える児童が80%以上である。	A	
	⑥	学校生活が楽しいと感じている児童が90%以上である。	学校生活が楽しいと感じている児童が90%以上である。	B	
	⑦	学校はいじめのない学校づくりを推進している。	学校のいじめへの対応や対策ができていると答える児童・保護者が100%以上である。	B	
	⑧	児童は学校に困ったことや悩みなどを相談できる。	「学校に相談がしやすい」と答える児童が90%以上である。	B	

Ⅲ 健康・体力 (心も体もたくましい子)	⑨	学校は、児童が基本的な生活習慣が定着するような働きかけを行っている。	毎日朝食をとっている児童が90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事と体の成長を関連づけた授業を充実させる。</li> <li>・栄養士による朝食の大切さを扱った授業を実施する。</li> <li>・陸上、持久走、なわとびの練習時間を、年間を通して計画的に設定する。</li> <li>・朝行事に体育集会を取り入れる。</li> <li>・体育の授業で、鉄棒カード、なわとびカードを準備し、自主的に練習ができるようにする。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑩について 生活習慣の見直しや睡眠の大切さについて、日頃から啓発していくとともに、保護者と連携を図りながら生活習慣の改善を図ります。</li> <li>・⑪について 持久走やなわとびの学習の期間には、家庭でできる練習を提示したり、ワークシートを持ち帰らせ、体力向上の機会を設定したりします。 休み時間は全校児童で外遊びをするように声かけ、体を動かすことの楽しさが分かるような支援を行います。</li> </ul>
	⑩		毎日1日8時間以上の睡眠をとっている児童が90%以上である。		B	
	⑪	学校は、進んで体力の向上を図ろうとする児童の育成に努めている。	進んで体力の向上を図ろうとする児童が80%以上である。		B	
Ⅳ 家庭や地域との連携	⑫	学校は、学校の考えや児童の様子を保護者にわかりやすく伝え、理解を得ている。	「学校の考えや子どもの様子が分かる」と答えている保護者が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより、学年だより、学級だよりを定期的に配布し、学校ホームページでも学校や児童の様子を保護者や地域へ発信する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を達成できましたので、今後も現在の方針を継続して実施していきます。</li> <li>・⑭について 年3回学校運営協議会を開催し、地域と目標や課題を共有し、学校運営の改善や目指す学校像の実現を図ります。 CS活動において、地域の方々や意思の疎通を図りながら進めます。</li> </ul>
	⑬		「学校に連絡や相談がしやすい」と答えている保護者が80%以上である。		A	
	⑭	学校は、目指す学校像「地域とともに学び、子どもの夢と可能性を育む学校」の実現に努めている。	「している」と答える児童・保護者・教員が80%以上である。		A	
Ⅴ 安全確保・施設設備	⑮	学校は、交通事故防止、火災・地震・不審者対策など、安全教育の徹底を図っている。	交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している児童が100%である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署と連携して、参加体験型の交通安全教室、不審者対応を消防署と連携して、実際の事案や災害を想定した不審者対応、火災、地震を想定した避難訓練を実施する。</li> <li>・学級活動において、安全な歩行の仕方について指導する。また、交通安全教室を実施し、中高学年の児童に自転車の乗り方の指導を行う。</li> <li>・学期末の集団下校時に、通学路点検を行い、登下校の安全確保に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑮について 朝の会や帰りの会等で、日常的にタイミングよく継続して指導するとともに、交通安全教室や終業式などで外部の方の話しを聞く機会を設け、自分の身は自分で守る児童を育てていきます。</li> <li>・⑯について 避難訓練実施後も学活などで避難の仕方について振り返る機会をもち、自分事として考え、自分の身は自分で守る児童を育成します。 ・学校公開日に合わせて「地域防災訓練」を実施することで、地域の方々や親子で防災への理解を深めます。</li> </ul>
	⑯		災害や火災発生時の避難の仕方がわかると答える児童が90%以上である。		B	
Ⅵ キャリア教育	⑰	学校は、自分の将来の夢や希望について主体的に考えるキャリア教育の推進を図っている。	「将来の夢や希望について考えている」と答えている児童が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合や社会、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を達成できましたので、今後も現在の方針を継続して実施していきます。</li> <li>・CS活動等で、地域の方と一緒に活動する中で、大人への憧れを育みつつ、自分の将来について考えられるようにします。</li> </ul>
	⑱		「自分の持ち味を理解し、それを生かそうとしている」と答えている児童・保護者が80%以上である。		A	